



浜小だより

9月号

No. 6

茅ヶ崎市立浜須賀小学校 TEL 85-1184

平成29年8月31日 校長 柴山 比都美



楽しい思い出ができましたか？健康でいられましたか？

長いと思った夏休みが終わりました。学校には、事件事故の知らせはなく、ホッとしています。今年は、雨の日が多く、各地の局地的な激しい雨や雷の情報にびっくりする毎日でした。学校のプールの来場者もいつもの年より少なかったように思います。9月の暑さと台風15号の動きが心配されるところです。

さて、学校では昨日、先生たちが皆さんを迎えるために学校中に風を入れ、汗だくになりながら一生懸命掃除をしました。遅く成長している皆さんに会えることを楽しみに、きれいな教室で迎えたいと頑張ってくれました。どの教室でも、「先生、先生、あのね。」という会話が聞かれ、活気のある学校が戻ってきました。

夏休みの8月9日（水）、茅ヶ崎市主催の第12回ちがさき宇宙記念日、第9回宇宙飛行士ゆかりのまちサミットに出席しました。インターネットで5つの会場をつなぎ、テレビ会議が行われました。毛利さん、山崎さん、油井さん、野口さんのゆかりの町です。本校の6年生、鈴木晴子さん、熊田珠寿さんも参加し発表しました。

こんにちは、茅ヶ崎市浜須賀小学校6年の熊田珠寿です。茅ヶ崎の紹介をしたいと思います。茅ヶ崎は、海が近くて、夏いっぱい遊べるし、1年中サーフィンをやっている人も多くいます。夏には、海で花火大会があり、浜辺をうめつくすぐらいの多くの人がやって来ます。海の日には、浜降り祭が行われていて、多くの観光客が集まります。海に向かう通りを紹介しします。その通りは、ラチエン通りという通りです。ラチエン通りは、国道1号と134号を結ぶ約2kmの通りです。駅の近くには、イトーヨーカドーやイオンなどたくさんのお店があり、とても便利です。茅ヶ崎は真っすぐな道が多いので、初めて来た人でも、あまり迷わないと思います。迷ってしまっても、茅ヶ崎の人に聞けば、優しく教えてもらえると思います。

こんにちは。浜須賀小学校6年の鈴木晴子です。私は、小さい頃、一番星を見つけるのが好きで、見つけて喜んでいました。また、満月の日に、望遠鏡で月を見たりもしていました。ですが、宇宙飛行士のことをよく知らなかったので、茅ヶ崎が、宇宙の町と呼ばれていたのにはびっくりしました。秋に小学校でやっている星を見る会に参加して、月と夏の大三角形や白鳥座のくちばしの星、アルビデオのブルーとオレンジに光る星を見てとてもきれいでした。小さい頃、お母さんに連れられて平塚や横浜のプラネタリウムによく行きました。幼稚園の遠足では、藤沢のプラネタリウムに行きました。4年生の時、お母さんがマンガを買って来てくれて、そのマンガは、天体部に所属している高校生が部活動で夜、学校に泊まったりして星の観察をしたり、部活動に人が集まらず、みんなに星のよさを伝えるお話でした。そういうこともあり、私は、星を見ることが好きになりました。宙のまにまにという題名でした。

会場には、野口飛行士のお父さん、油井飛行士のお父さんが、そして、テレビで山崎飛行士のご両親が登場されました。小学校のころどんな子供であったかの質問に、3人とも、「学校は勉強するところ」と学校と家庭を分けていたようだと話され、学校での学習意欲の高さを感じました。野口さんは、友達から遊びの天才と言われ、遊びを工夫し、プラスアルファの面白さを加えたそうです。夢を叶えられた皆さんは、意欲的なお子さんでした。

また、今年は、世界陸上で、サニブラウン選手が200メートル決勝に進み7位に入ったり、今までたくさんの金メダルを獲得しているウサイン・ボルト選手が3位になり、最後のレースのリレーで足を痛めたりしました。脊柱側弯症のボルト選手の血のにじむような努力と今までの結果は、子供たちの心に残り、夢が持てたことでしょう。

私たち教員は、夏休みの間にも、研修会や研究会に参加しています。校内でも、8月29日（火）には、高崎福祉大学の教授になられました前校長栗原幸正先生に来ていただき、「主体的・対話的で深い学び」ができる授業づくりの研修会を行いました。未来をひらく浜小の子供たちの可能性を引き出し、子供たちが楽しく、できる喜びを味わえる授業づくりを行っていきます。そして、夢や目標が語れる子供たちを育てていきます。どうぞ、これからも本校教育活動にご理解、ご協力のほどよろしくお願いたします。

